

キャリア教育 + NIE = NICE

指定校2年次 長野県丸子修学館高等学校 佐藤 真平

I. 本校の現状と実践のねらい

丸子修学館高等学校は今年度、総合学科設立10周年を迎えた。10月に開催した10周年記念行事を通して、これまでの本校の教育実践をふり振り返り、「総合学科」高校としての本校のあり方を模索しているところである。

総合学科高校は2年次より、生徒自らが自分の興味・関心、将来の進路選択を踏まえて学ぶ講座を選択する。講座選択を通して、自己理解（自分自身の興味・関心、目標や課題を知る）と社会理解（世の中で求められる力は何かを知る）を深めながら、普通科・職業科の高校では学ぶことのできないカリキュラムの中で自分の将来像を描いている。それが、本校のキャッチフレーズの「自分でツクル自分のミライ。」である。

これらを実現していくための柱となる学習活動が、1年次の「産業社会と人間」、2・3年次の総合的な学習（2年次「キャリアスタディ（CS）」、3年次「総合研究」・「キャリアレッスン（CL）」）である。

6系列13分野

文化アカデミー系列

国語・地歴公民・英語分野

サイエンスアカデミー系列

数学・理科分野

バイオ環境テクノ系列

農業・工業分野

情報ビジネス系列

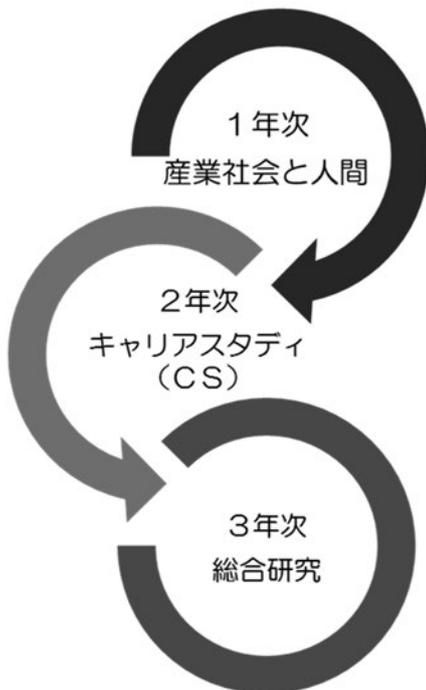
商業分野

スポーツ健康系列

体育・福祉・家庭分野

芸術デザイン系列

被服・芸術分野



1年次の「産業社会と人間」では、さまざまな行事（講座選択、オリエンテーション合宿、就業体験、校外研修Ⅰ、発表会など）を行うなかで、事前学習をしたり、外部講師による講演を聞いたり、グループでの話し合いをしたり、感想文を書いたりすることによって、自己理解を深めている。

3年次の「総合研究」では自らが選択した系列・分野の研究をしている。各自が研究テーマを設定し、担当の先生に指導を受けながら、一つの論文を書き上げる。論文は各系列・分野の中で発表し、優秀なものについては、学年末の「総合研究発表会」で発表する。「キャリアレッスン」は生徒それぞれの進路に向けた学習を行う。

その間の、2年次「CS」については、「社会理解（世の中を知る）」という共通の目標はあるものの、校外研修Ⅱの準備のほかには、これまで年度ごとに行う学習活動が異なり、定まった形にはなっていなかった。昨年度より、NIEを活用させていただき、新聞を使っの「社会理解（世の中を知る）」を中心にすえた学習活動を行っている。研究指定2年目の2016年度は、このNIEを活用した学習を本校の「CS」に定着させることを主目標とし、学習内容の計画・立案を行った。

昨年度、NIEの活動を1年間実施し、職員・生徒からの評価が高かったこと、初めて行った「産業社会と人間」と「キャリアスタディ」合同発表会における2年生の発表に成果があらわれていたことを踏まえ、NIEの活動は本校のキャリア教育に十分活用できることを担当する係で確認し、研究指定終了後もNIEを本校に取り入れていく方針となった。

2015年度 2学年（研究指定1年目）年度末アンケート NIE活動に対する生徒評価

有意義であった	28	} 全体の64%
やや有意義であった	134	
あまり有意義ではなかった	58	
有意義ではなかった	34	

研究指定2年次の今年度は、NIEの活動を「**NICE**」【Newspaper in Career Education】と呼び、職員・生徒全員にNIEが本校のキャリア教育の活動の一つの柱であるという意識づけをした。

新聞を活用した学習活動は昨年度の活動の大枠をふまえ、本校におけるNIE活動の土台作りを行った。

【活動の大枠】

- ①新聞を読み、興味をもった記事を見つける。⇒ **自己理解**（自分の興味・関心を知る）
- ②その記事の中から疑問に思ったことを挙げ、調べる。⇒ **社会理解・課題設定能力**
- ③調べた内容を発表する。⇒ **コミュニケーション能力・他者理解**

①・②・③を何回かくり返すことによって、3年次の「総合研究」のテーマ設定、課題設定に結びつける。また、卒業後の進路決定に役立たせることをねらいとしている。

II. 研究の概要

(1) キャリアスタディ (CS)

2学年の「CS」は週1時間の科目である。NICE以外にも講座選択、校外研修Ⅱの準備・事後学習、就業体験、進学研究などの活動がある。年間35時間のうち、今年度、NICEにあてた時間は19時間である。学習内容は次の通りである。

- 4月14日（木） CS説明会（NIEについての説明）
- 21日（木） 記事を見つける（1人1記事）
- 5月12日（木） 記事についてのグループ討論
- 19日（木） 記事から課題を見つける
- 26日（木） クラス内発表会
- 6月 2日（木） 第1回 記事からの課題発見（系列・分野に関わる記事を見つける）
- 9日（木） 分野グループの中で記事を紹介し合う
- 16日（木） 記事から疑問、課題を見つける①

- 7月 7日(木) 記事から疑問、課題を見つける②
- 9月 1日(木) 課題をまとめる
- 15日(木) 模造紙へ清書
- 10月 6日(木) 公開授業
- 12月 8日(木) 第2回 記事からの課題発見(系列・分野に関わる記事を見つける)
- 12月15日(木) 記事から疑問、課題を見つける①
- 22日(木) 記事から疑問、課題を見つける②
- 1月12日(木) 課題を調べる
- 1月26日(木) 課題をまとめる
- 2月 2日(木) 模造紙へ清書
- 2月16日(木) 産社・CS合同発表会 於 上田サントミュージゼ

1年間の学習の流れは、研究指定1年目の昨年度と大きな変更はない。4月は、新聞に親しみ慣れることを目的に、生徒1人ずつ自分が興味をもった記事を切り抜き、ワークシートにまとめた。あらためて、自分がどのようなことに興味をもっているのか、自己理解(自分を知る)の良い機会になったと思う。またそれをグループで紹介し合うことで、他者の興味関心を知ることができ、他者理解・社会理解をすることができた。

5月には、記事から課題を設定する(記事に対する疑問、それをどう調べていくか)ということについて、同じ記事を用いて学習した。ここでは、学年全体で同じ記事(「周辺住民の反対で保育園開設断念」朝日新聞・読売新聞)を読み、グループで話し合い、意見をまとめた。前年度も異なる記事で同じ活動を行ったが、生徒・職員から「新聞記事から課題・疑問を見つけるということはとても難しい」という意見が出たことから、今年度は初めて聞いた言葉、わからない語句といったものでも、じゅうぶん課題なりうると考え、そういった疑問でも良いとした。このグループの話し合いを全体で共有するためのクラス発表会では、聞く側の生徒に考えながら発表を聞いてもらうために、ワークシートの中に、発表された課題を調べる方法はあるか、ネット・書籍・現地に行く・その他といった項目を設け、選択させた。

6月から夏休みをはさんで、「第1回 記事からの課題発見」を7時間で行った。1時間目は2~3人のグループを作り、ひとりひとり現在自分たちが選択している系列・分野に関係のある記事を探した。2時間目は、ひとりひとり集めた記事を持ちより、グループで一番興味のわいた記事を決めるための話し合いを行った。3・4時間目は、1番興味のわいた記事の要約をし、その記事から疑問に感じたこと、調べてみたいことについて話し合い、ワークシートにまとめた。5・6時間目は記事の要約、疑問に感じた事、それについて調べてわかったことを模造紙に書き出した。7時間目は各グループが模造紙にまとめたことを発表した。聞いている人にうまく伝えるために工夫をした発表ができた。聞いている生徒は発表を評価し、発表した記事に対する更なる疑問をあげ、感想を述べ、さらに新たな提案をした。授業内では4グループが発表をしたが、時間の都合で発表できないグループの模造紙はすべて廊下に貼り出した。

活動を通して、自己理解(自分の興味・関心を知る)・社会理解(世の中のことを知る)というねらいはある程度達成できたのではないかと考える。しかし、課題設定能力(出来事に対して疑問をもち、自分なりに解決の方法を考える)というねらいは、まだ不十分であると感じた。



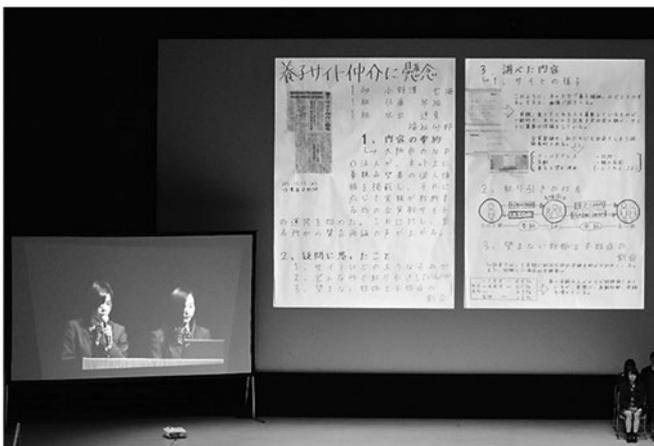
第1回目で生徒が選んでまとめた記事の一覧

分野・系列	記事のタイトル	新聞	掲載日
理科	鳥取県 市町村とスクラム		
理科	がん治療 新たな動き	信濃毎日	
理科	サリン製造の息子 死んでも償えない		
福祉	佐久・布施に福祉複合施設	信濃毎日	
福祉	薄めた塩酸飲ませる	信濃毎日	
福祉	介護施設の入所拒否是正	信濃毎日	
福祉	東京五輪 未来先取り	信濃毎日	
福祉	避難者あふれ 弱者苦境	信濃毎日	
被服	天皇陛下 生前退位の意向	朝日	2016/7/14
被服	戒律と彩り私たちの服		
被服	皆既月食 桜と競演	毎日	2015/4/5
被服	避難所 スマホで探す	朝日	
被服	エメラルドグリーン菌		
農業	季節選ばず栽培可能		
農業	ボートを自作 スイススイ水田除草	信濃毎日	
農業	100年後の林夢見て苗木植え		
農業	バラの楽園 週末満喫	信濃毎日	
農業	美しい棚田守るあぜ塗り		
農業	いちご狩り こぼれる笑み	信濃毎日	2016/5/20
地歴公民	オバマ大統領の広島訪問	信濃毎日	2016/5
地歴公民	周期表に日本の席	信濃毎日	
地歴公民	子どもの数35年連続減		
商業	平和を自分の問題として		
商業	東証大幅続伸661円高	信濃毎日	
商業	タンス預金急増	信濃毎日	
商業	牛肉73万トンで輸入制限	信濃毎日	
商業	日本の中国嫌い	産経	2016/7/28
商業	軍民両用技術に成長の芽		
商業	非公開アドレスに100通	信濃毎日	
商業	広がフェアトレード	信濃毎日	
商業	仮設解消震災10年後以降 整備遅れや原発影響	信濃毎日	
商業	租税回避地日本関連270社	信濃毎日	
商業	ソニー営業利益「1150億円影響」	信濃毎日	
商業	世界的市民マラソン 支えた「心意気」		
商業	HIOKI宿泊施設に15億円投資	信濃毎日	
商業	セブンイレブン 法人向けに食事配達		2016/9/15
商業	法人税など減免 国外資金を狙う	信濃毎日	

分野・系列	記事のタイトル	新聞	掲載日
国語	スマホを使う子どもを守る	朝日	
国語	被災者の心情や実情伝える		
国語	又吉さんに芥川賞	朝日	
国語	ゴミ屋敷 ケアの視点も大切	信濃毎日	
国語	「松本の忍者」芥川家文書注目	信濃毎日	2016/2/22
国語	「学問の基礎」大切に		
工業	三菱データ偽装		
工業	酷暑の街角 水で清涼感	読売	2016/5/30
工業	庁舎被災行政に支障	朝日	
芸術	不在が示す災厄の記憶		
芸・数・外	夏休み短縮■下校繰り下げ		
芸・国・家	地元産ブルーベリーとリンゴ ゼリーに	信濃毎日	2015/12/5
家庭	子ども食堂で楽しい食卓	信濃毎日	2016/1/8
家庭	赤ちゃんに家庭を		
家庭	「待機児童」県内でも	信濃毎日	
家庭	G7 給食で身近に	信濃毎日	2016/5/19
家庭	「子を預けられる人いない」6割	朝日	
家庭	3歳 おなかすいて、とった	朝日	2016/5/8
家庭	しつけにオバケ これいいの？	信濃毎日	2016/5/7
家庭	「待機児童」県内でも	信濃毎日	
家庭	ササで鬼追い無病息災願う	信濃毎日	
家庭	刻 ～1944(昭和19)年7月～	信濃毎日	
家庭	木や虫に学んですすく	信濃毎日	
家庭	糖尿病患者向けのチョコレート開発		
家庭	世論変えたLGBT運動	朝日	2016/7/7
家庭	外は漫画 中はカレー		
家庭	備蓄食 食べて買い足す	朝日	2015/3/11
外・数	オバマ大統領 広島訪問	朝日	2016/5/28
外国語	狙われるスマホ初心者		
外国語	オバマ大統領の広島訪問	信濃毎日	
体育	三つ子姉妹リオ五輪マラソンへ	信濃毎日	2016/9/15
体育	東京五輪採用 野球劣勢？		
体育	巻き返しへ香川の決意	朝日	2016/7/5
体育	「潔白の選手を守る」IOC会長薬物撲滅へ意欲		
数学	日本史高校で必修化		
数学	県内と全国のガソリン価格の状況	信濃毎日	
数学	より速く7センチ 勇気の銀	朝日	2016/8/21

12月から「第2回記事からの課題発見」を行った。2学年全員を3年次の分野別（「国語」「地歴公民」「外国語」「数学」「理科」「農業」「工業」「商業」「体育」「福祉」「家庭」「被服」「芸術」）に分け、それぞれの分野に担当教員がついてグループでの活動をした。グループごとに関心のある記事をさがし、疑問に思うことを出し合い、その疑問を課題として本、インターネットなどを利用して調べた。その調べたことを中心に模造紙にまとめた。専門教員が担当する分野もあり、第1回に比べて専門的な内容となったグループが多かった。記事に載った人物にインタビューをするなどフィールドワークを行ったグループもあった。

この1年間を通した学習は、2月16日に開催された、1学年「産業社会と人間」・2学年「キャリアスタディ」合同学習発表会（上田市サントミュージゼ）にて展示・ステージ発表を行った。



「ブタの細胞も治療に利用」



理科分野
6組
8組

(徳島 7月22日)

内容の要約

病気や事故などで臓器が働かなくなった場合に人間と臓器の大きさが似ているブタの臓器を使うという方法。しかし、ブタのDNAに組み込まれた「レトロウイルス」が感染して病気を引き起こす可能性があるため、日本では実施されていない。実際、世界での感染例は35年間一度もなく、治療成績がよいため、日本でも複数の研究チームが糖尿病患者に対する移植計画を国に申請する準備を進めている。

1Q、異種移植はいつから始まったのか？

1A、異種移植自体は、1900年初期から行われた。

☆ ブタ以外でも移植していたらしい...

2Q、なぜ、ブタの臓器なのか？

2A、人間の臓器にサイズが近く、感染のリスクが他の動物より低い。

3Q、異種移植として感染症や体へのリスクはどのようなものがあるのか？

3A、拒絶反応とレトロウイルスの感染がある。

レトロウイルスに感染したら...

・今の技術では完治は難しい

・持病よりも大きい病気になるやすい

拒絶反応を引き起こしたら

・感染症にかかったりする

・熱が出たり、正常な機能が

行われず体の害となってしまう



今の医療技術では、

拒絶反応のリスクを減らす免疫抑制剤の

投薬や、ブタ自体に人間の遺伝子組み換え

を行い、臓器を適合しやすくし、

異種移植が可能になってきている。

もし、病気にかかってしまって、この異種移植を受けたいと思いますか？

第2回で生徒が選んでまとめた記事の一覧

分野・系列	記事のタイトル	新聞	掲載日
外国語	韓国は五輪中継支援せず	朝日	2016/7/21
外国語	ベトナムで飲料増産		
国語	言葉の変化は多数決	毎日小学生	
国語	鳥獣戯画絵巻皆変わった		
国語	不読率 高校生で深刻		
国語	郷愁と新鮮さ 新味出す出版社		
国語	米で10倍稼げた		
国語	「ハミルトン」米で社会現象		
理科	在日米軍が全面禁酒		
理科	ブタの細胞を治療に利用	信濃毎日	2016/7/22
理科	新元素「ニホニウム」	信濃毎日	
理科	土地利用見直し 探る防災	信濃毎日	2016/5/30
理科	治山への願いを込め 2000本植樹	信濃毎日	2016/5/29
理科	昭和基地CO2濃度400ppm超	信濃毎日	2016/7/13
理科	子どもの保養 継続的に	信濃毎日	
理科	龍江の紅葉川 ホタルの乱舞		
理科	住民の帰還 課題山積み	信濃毎日	2016/6/12
理科	減数手術でミスと提訴	信濃毎日	2016/6/15
理科	胸も体も元気に	信濃毎日	2016/7/4
理科	見たい知りたい世界のくるま	信濃毎日	2016/6/18
理科	最大116人の民間犠牲者	信濃毎日	2016/7/3
商業	個人型の確定拠出年金 管理手数料なし	日本経済	2016/11/21
商業	樹添氏 自宅事務所531万円計上		
商業	初任給のうち残業代いくら？		2016/5/27
商業	東芝原簿「のれん代」訂正	朝日	2016/5/24
商業	フェイスブックCEO	毎日	2016/9/23
商業	ビール税 2026年に統一へ		
商業	上海ディズニー一期符も大		
商業	個人株主最多 延べ4044万人	読売	2016/6/21
体育	桐生3年ぶり 10秒01		
体育	ルーキー小笠原 初白星		
体育	競技普及「銀」後押し		
体育	負の歴史残ってしまう運帯責任は違うかな		
体育	大谷二刀流「日々成長」		
体育	消えぬ苗への不安		
調理	名古屋流 まったり喫茶店	朝日	2016/5/31
調理	加熱不十分？表示に工夫を	産経	2016/11/17
調理	太古のロマン「ニラせんべい」		
調理	自慢の食材 元氣届ける	朝日	2016/7/13
調理	野菜くず 再生栽培し食卓へ	読売	2016/10/10
調理	サンスターが提案「新・玄米生活」	毎日	2016/11/7
調理	色づき芳香漂う マルメロの収穫	信濃毎日	2016/10/12
調理	「ちよい飲み」若者浸透中	読売	2016/6/6

分野・系列	記事のタイトル	新聞	掲載日
地歴公民	歴史の年月日正確な表記を	読売	2016/9/21
地歴公民	「大翔」「葵」2年連続トップ	毎日	2016/11/29
地歴公民	若者「全て変わってしまう」高齢者「EU東進から懸念」	信濃毎日	2016/6/27
地歴公民	カナダ 日本人女性 遺体で発見	毎日	
地歴公民	少数派弾圧は「民族浄化」	毎日	2016/11/29
農業	「山出し」を体験 深めたイメージ	信濃毎日	2016/8/13
農業	福のまり ナンテン収穫	信濃毎日	2016/11/27
農業	冬囲い「わらぼっち」出番	信濃毎日	2016/12/2
農業	りんご並木 シンボルが…	信濃毎日	2016/11/17
農業	ヤマブドウワイン 新作販売	信濃毎日	2016/11/18
被服	中学校の制服1	朝日	2016/9/25
被服	中学校の制服2	朝日	2016/10/2
被服	中学校の制服3	朝日	2016/10/9
被服	中学校の制服4	朝日	2016/10/10
被服	中学校の制服5	朝日	2016/10/16
被服	中学校の制服6	朝日	2016/10/23
被服	中学校の制服7	朝日	2016/10/24
被服	人は年を取るほど美しい		
被服	制服をもっと安く	朝日	
被服	オーダースーツ 取り込み若年層	朝日	
被服	華やかな着物姿 胸ヶ根でショー		
福祉	障害者アートざわめきを感じて	信濃毎日	2015/10/4
福祉	病気の「外見ケア」へ広がる支援の輪へ	信濃毎日	2016/10/7
福祉	飲み込みやすい即席みそ汁開発	信濃毎日	2016/11/30
福祉	養子 サイト伸介に懸念	信濃毎日	2016/11/13
保育	育休8ヶ月パパがとりました		
保育	ベビーシッターに無期求刑		
保育	保育士に届かぬ補助	毎日	2016/10/16
保育	親と子の権利考えた	朝日	2016/7/5
保育	男の子「大翔」女の干「葵」2年連続1位 子どもの名前		
保育	保育の受け皿 足りず	読売新聞	
工業	円形交差点 全国モデル		
工業	ナイジェリア北部でテロ活発化	朝日	2013/2/2
工業	福岡 藤田独走T日本V6		
工業	ロボットスーツで難病患者リハビリ		2016/11/13
工業	爆発で飛ぶロケット		
工業	「世界で1枚」せんべい人気		
工業	ソニー黒字 リストラ頼み	読売	2013/5/10
工業	体の変化を考える好機		
工業	「読みたくなる」本棚作り	読売	2013/5/11
工業	海拔1750メートルの淡水水族館		
工業	冬山遭難多発 規制は必要？		

Ⅲ. 研究のまとめとこれからの課題

2年次の「CS」の目標である「社会理解（世の中を知る）」と「課題設定能力」を達成するために、NIEを活用して2年が経過した。1年目の活動を2年目も継続して実施することで、大きな効果があったと考えている。

1年目にNIEを実施した2年生が3年生となり、「総合研究」を行った。内容をみていくと、これまでと比較して、より現在の社会に目を向けた研究が多くなったように感じる。その代表的な例として、福祉分野のある生徒の総合研究がある。NIEが研究の動機となり、充実した研究を行うことができた。以下は、信濃毎日新聞社に取り上げていただいた記事である。

信毎 ヤンジャ

桃畑で話す上田優花さん(左)と上原弘三さん。上原さんはリンゴのほか桃、ブドウなど幅広い果樹を栽培する＝上田市中丸子



実り知る指先

示す福祉の道

丸子修学館高校(上田)3年の上田優花さん18。北安曇郡岩手町は、この年、果樹園家全員の「上原弘三さん(75)＝由布川＝取材しきた。〇〇や〇〇リンゴを作るとなる」といふのは「金に代わり」(後)は「強き愛のこころ」といふ言葉に響いた。卒業を終え、4月から介護職として働く上田さんは、「星を知ろうとすれば、良きサボトは難し」と考える。由布川は「星の世を愛しを察す」。



気持ちの優しい子
「取付たいという話があった時は、一種器用な向も変わったよ」と言っていた。うちの子どもが独立して、(妻)と(妻)らも孫が訪ねてくるようになった。上田さんは、研究を立派にまめめ、就職も決ま、よくやっていると。お母様の優しい子だから、福祉の道を行くのはいいんじゃないかな」
枝を握り、桃の尻みの位置を確認して持ち上る上原さん

全盲の農家の方は どうやってリンゴを作るの 丸子修学館高3年・上田さんが取材

飛び込んで経験することで、不安が楽しさや自信に変わる。
福祉を学ぶ前は、福祉に対する不安が、何事もやる中で消えして(大まか)「ミニミニ」が取れたらいいかな」といふ不安がありました。実習で「総合研究」は4月から上田市内の働き手との取材を終え、「人に必要とされる」「魅力ある仕事」といふイメージに変わりました。上田さんは「不安なく生きていく人はいないはず。でも飛び込んで経験すること、不安が楽しさや自信に変わる。自分が変わる。そう感じました。上原さんへの取材前あたりを思い出しています」。



上田さんが4月から職場で着る服

上原さんは丸子実業高校(現丸子修学館高校)農業科の卒業生です。幼い頃から両親、祖母以外の感覚障害者(知的障害)に接して育ちました。50歳で全盲に。当時は優花さんの前学習を懐かしむ「生懸命で、悲しむのはなかつた」。

「どう自立できるか」心に
リンゴ栽培は長年の経験と手の感触で作業をします。例えば収穫、見える人は色づきを確認しますが、上原さんは「つじと」で確認。表面がざらざらして細かな凹凸があるものを選びます。出荷時は上原さんが「アイス」に仕分け、優花さんが「ゆき」を摘み取り、選別します。10年ほど続いた言葉天を手放し、今は介助サービスを利用していません。上原さん

「知ろうとすることの大切さ」研究会で発表

丸子修学館高校は総合学科で、2、3年生は6系列13分野から講座を選んで学ぶ。上田さんは福祉分野の講座を主に選択。家族がリンゴを栽培していることから、農業の講座も選んだ。
また、3年生はテーマを決めて個人かグループで調べる「総合研究」に取り組む。2年生の総合的な学習の時間「キャリア・スタディ(CS)」ではNIE(新聞を活用した学習)を取り入れている。
上田さんはCSで、交通事故に遭った視覚障害者について書かれた新聞記事を読んで視覚障害者の生活に関心を持ち、総合研究のテーマにした。農業の新聞で上原さんの記事に出会い、リンゴ農家の知人を介して連絡を取った。取材は昨年4月から今年1月まで、月1回ほどのペースで続いた。
上原さんの紹介で、視覚障害がある女性も取材した。実習で高齢者福祉施設を月1回訪ねて交流した経験も踏まえて、総合研究をまとめた。2月には、「知ろうとすることの大切さ」と題し、県内の福祉事業所などが研究成果を発表する「第11回県介護・福祉サービス研究会」で発表。準備には同学年の小宮山樹理弥さん(18)が協力した。

(2017年3月24日付 信濃毎日新聞 しんまいヤングジャーナル)

この生徒は、2年次のNIE活動をきっかけとして3年次の総合研究の課題を設定し、その研究を深めることによって自分の将来を決定していった。このような生徒がいることを学校全体で共有し、NIE活動をさらに充実させていきたいと考えている。

NIE活動に対する生徒の評価も、2年目の今年は、昨年と比較して向上している。活動の意義や内容を生徒が理解したことで、NIEが丸子修学館高校に定着してきているといえる。

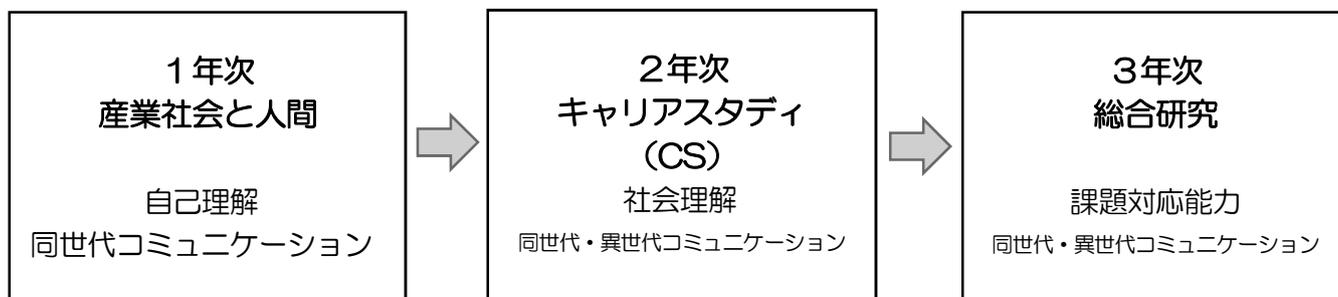
2015年度 2学年（研究指定1年目）年度末アンケート NIE活動に対する生徒評価

有意義であった	28	} 全体の64%
やや有意義であった	134	
あまり有意義ではなかった	58	
有意義ではなかった	34	

2016年度 2学年（研究指定2年目）年度末アンケート NIE活動に対する生徒評価

有意義であった	50	} 全体の79%
やや有意義であった	113	
あまり有意義ではなかった	32	
有意義ではなかった	12	

本校の総合学科の柱の一つであるキャリア教育、その中でも2年次の「CS」にNIEを導入したことで、1年次から3年次への体系的な学習が整ったといえる。



研究指定終了後も、長野県NIE推進協議会のご協力をいただき、「すべての教室へ新聞を」運動を活用し、2年次の「CS」で新聞を活用した学習を行う予定である。

生徒の中には、新聞を読むことに抵抗を感じる者も多い。2年間継続して設置した新聞コーナーで新聞を読む生徒はあまり増えていかなかった。「CS」の授業だけでなく、普段の授業やHRなどで、新聞にふれる機会を増やし、生徒が自分から積極的に「世の中を知る」ようになるために、活動を継続していきたい。